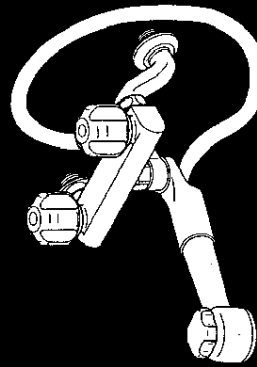
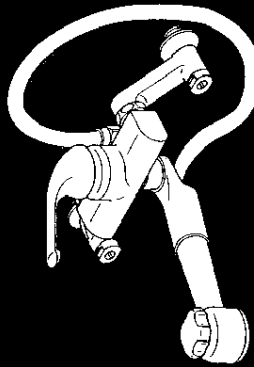


ジョイシリーズ 台所用シングルレバー混合水栓 2バルブ混合水栓

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO台所用混合水栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。



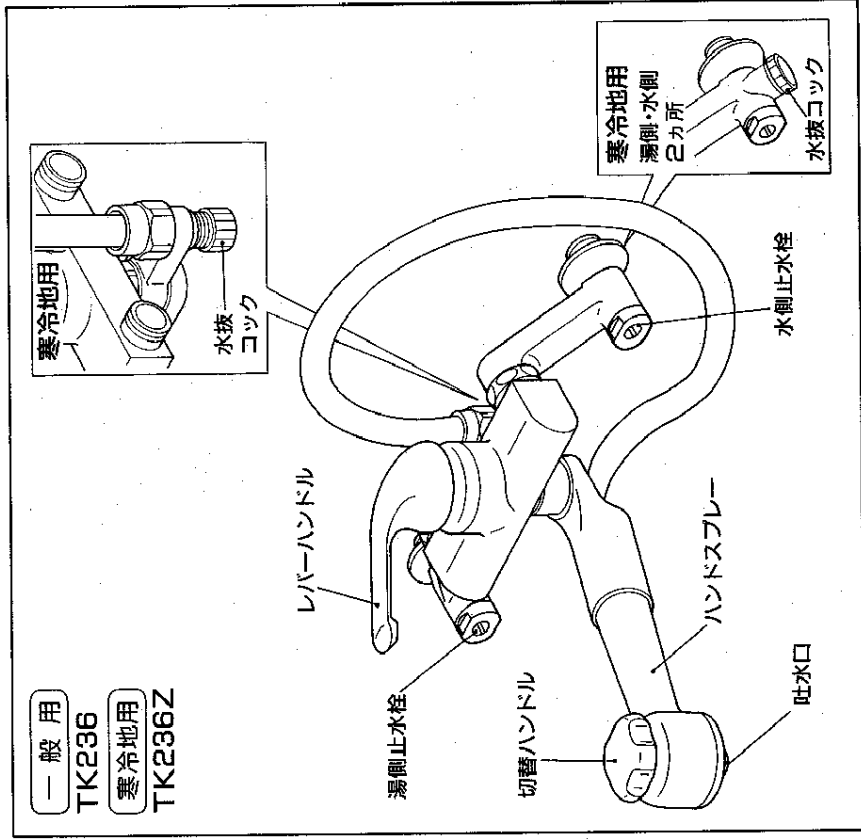
もくじ

特長・各部のなまえ	1~2
つかいかた・使用上の注意	3~6
凍結予防のしかた	7
手入れのしかた	8
故障したときは	9~10

特長・各部のなまえ

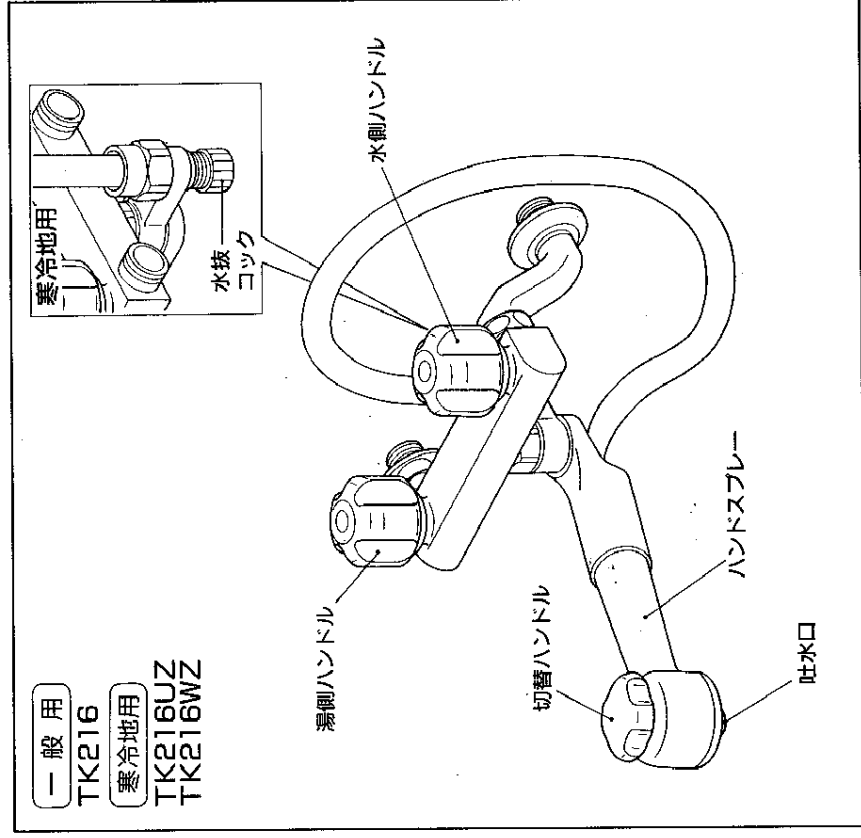
シングルレバー混合栓

1. レバーハンドルのワンタッチ操作で吐水・止水、温度調節から吐水量の調節までできます。
2. 切替ハンドルにより、整流とスプレーに切替えることができます。
3. ハンドスプレーは納めたままでも、引き出しでも使える兼用タイプです。血洗いや、シンク洗いにとても便利です。



2バルブ混合水栓

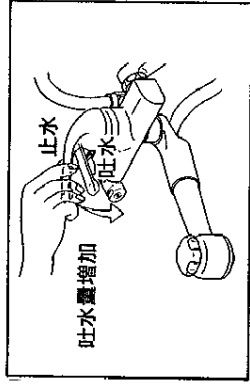
1. お湯と水のハンドルが独立した最もピュアな水栓金具です。
2. 切替ハンドルにより、整流とスプレーに切替えることができます。
3. ハンドスプレーは納めたままでも、引き出しでも使える兼用タイプです。血洗いや、シンク洗いにとても便利です。



つかいかた・使用上の注意

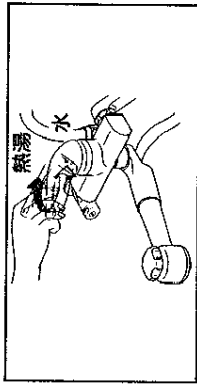
シングルレバー混合栓の場合

吐水と止水



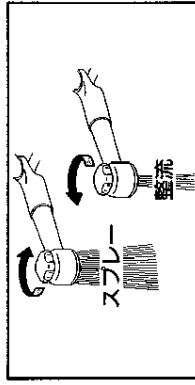
どの位置でも、レバーハンドルを下
げると吐水し、上げると止水します。
吐水量はレバーハンドルを下げるに
したがって多くなります。水を止め
るときは、レバーハンドルをゆくり
上に上げてください。急に上げると、
水撃による音が出ることがあります。

温度調節



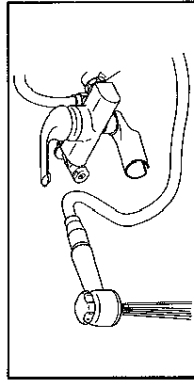
温度調節はレバーハンドルの回転で
行います。レバーハンドルを右にいっ
ぱい回すと水、左に回すにつれてし
だいに温度が上り、左いっぱいでは最
高になります。

吐水の切替



切替ハンドルを右に回すとスプレー
に、左に回すと整流に切替わります。

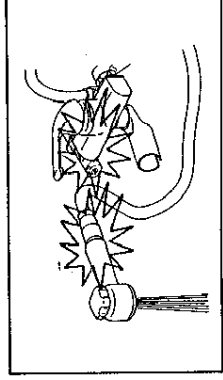
ハンドスプレー



ハンドスプレーは引き出して使用で
きます。皿洗いやシンク洗いのとき
などに便利です。

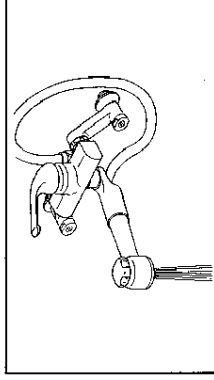
熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

やけどに注意



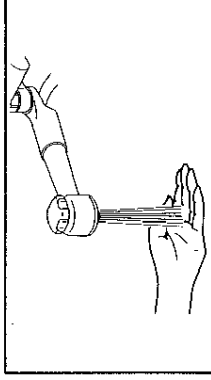
器具の左側及び熱湯で使用するとき
のハンドスプレー取付金具は高温に
なります。これらの金具表面に直接
ふれないでください。

しばらく吐水させてご使用ください



使用した後、次に使用するとき若干
温度変化する場合があります。しば
らく吐水させて湯温が安定してから
ご使用ください。また高温で吐水さ
せた後はしばらく水を出し、高温の
残湯を流しておいてください。

湯温を確かめる



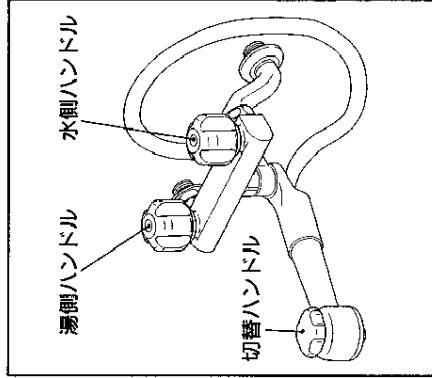
湯加減を調節後、そのままの状態
で整流からスプレーへ、又はスプレー
から整流へ切替えた場合、湯温が若
干変わることがあります。念のため
もう一度湯温を確かめてからご使用
ください。

給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

- レバーハンドルは全開でご使用ください。
- 湯沸器の温度調節つまみを“高”の位置にして、能力切替つまみは季節に
応じた位置にセットしてください。
- 適切な吐水量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調
節してください。

2バルブ混合水栓の場合

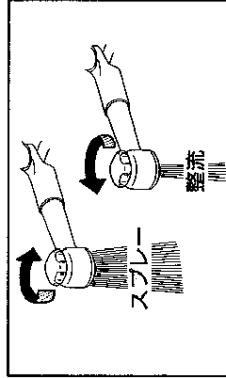
吐水・温度調節・吐水量調節・止水



まず水側ハンドルを開き、その後湯側ハンドルを開いて温度及び吐水量を調節してください。(※湯側から開くとききなり熱湯が出て危険です。)ただし、給湯機が瞬間湯沸器の場合は、湯側ハンドルを全開状態まで開き、次に水側ハンドルで湯加減をしてください。ご使用後は、湯側、水側のハンドルを閉じてください。

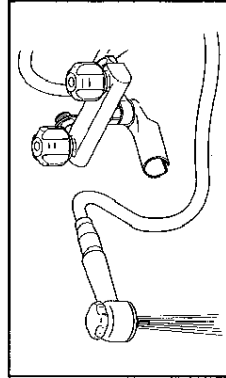
※湯側ハンドルを必ず先に閉じてください。水側ハンドルを先に閉じると熱湯だけがが出て危険です。

吐水の切替



切替ハンドルを右に回すとスプレーに、左に回すと整流に切替わります。

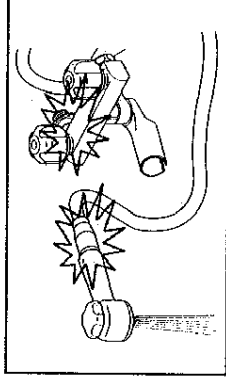
ハンドスプレー



ハンドスプレーは引き出して使用できます。皿洗いやシンク洗いのときなどに便利です。

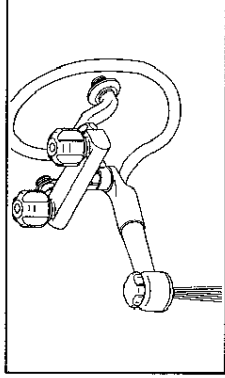
やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

やけどに注意



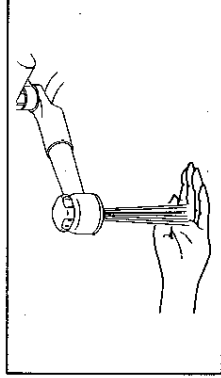
器具の左側及び熱湯で使用するときのハンドスプレー取付金具は高温になります。これらの金具表面に直接ふれないでください。

しばらく吐水させてご使用ください。



使用した後、次に使用するとき若干温度変化する場合があります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、高温の残湯を流しておいてください。

湯温を確かめる



湯加減を調節後、そのままの状態ですプレーへ、又はスプレーから整流へ切替えた場合、湯温が若干変わる場合があります。念のためもう一度湯温を確かめてからご使用ください。

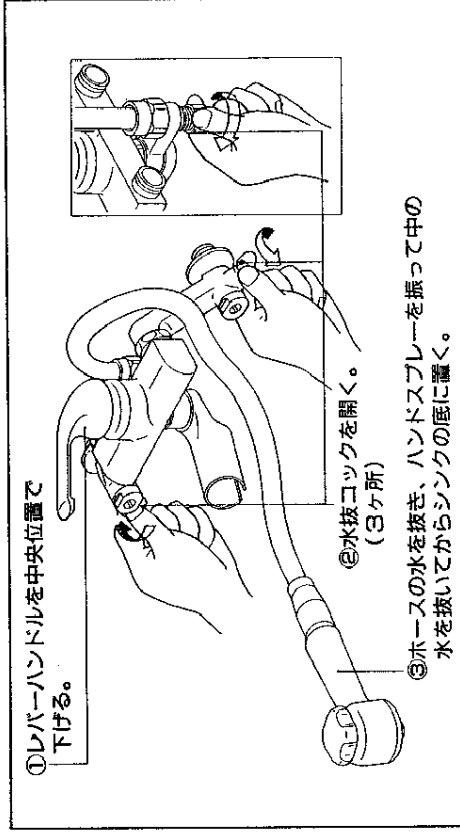
給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

- 湯側ハンドルは全開でご使用ください。
- 湯沸器の温度調節つまみを“高”の位置にして、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
- 適切な吐水量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

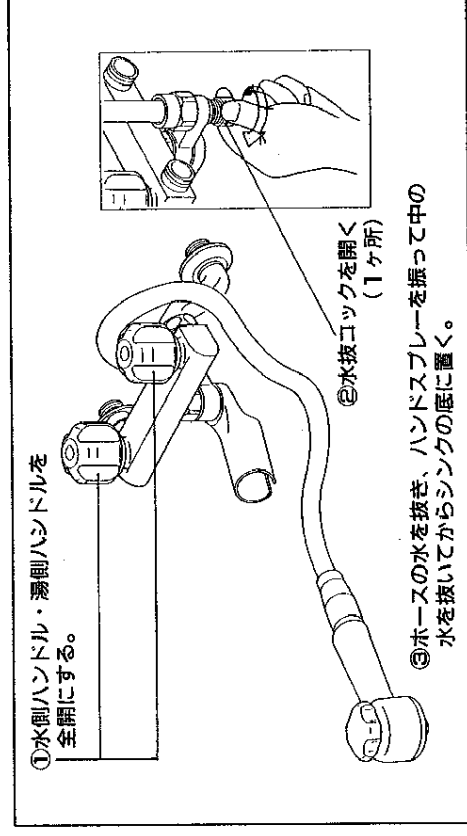
凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、水抜栓の操作とあわせて下図の番号順に操作し、器具内の水抜きをしてください。

シングルレバー混合栓の場合

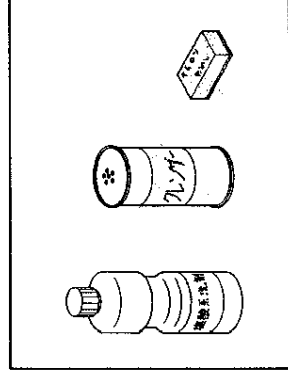


2バルブ混合水栓の場合



手入れのしかた

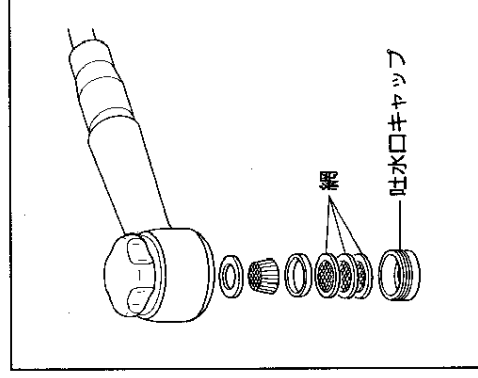
いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきシンソイルやカーフックスなどを布でみがいでください。ただし樹脂部（ハンドル、レバーハンドル、及びハンドスプレーなど）付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

吐水口キャップがつかまると吐水量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき吐水口を掃除してください。

吐水口の掃除



吐水口キャップを左へ回してはずしてください。網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

故障したときは

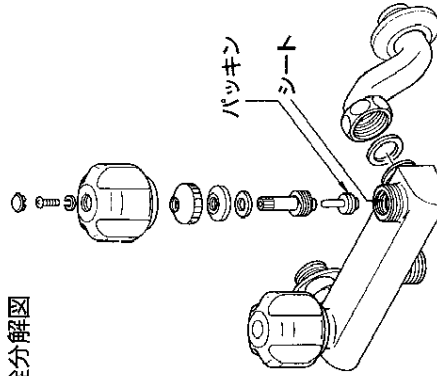
故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。
 なおご不明な点がございましたら最寄のTOTO事業所にお問い合わせください。

修理を依頼される前に

2バルブ混合水栓の場合

現象	お調べいただくところ
<ul style="list-style-type: none"> ■水が止まらない ■湯水ハンドルを閉しても水が漏れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●湯及び水側のハンドル部を分解して“シート”及び“パッキン”を点検する。 ●ごみかみがあれば取除く。 ●傷があれば部品を交換する。
<ul style="list-style-type: none"> ■吐水量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●吐水口キャップの目づまりはないか。
<ul style="list-style-type: none"> ■温度調節がうまくできない 	<ul style="list-style-type: none"> ●混合水栓に湯がきているか。 ●吐水口キャップの目づまりはないか。

■2バルブ混合水栓分解図



シングルレバー混合栓の場合

現象	お調べいただくところ
<ul style="list-style-type: none"> ■吐水量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は開かれているか。 ●吐水口キャップの目づまりはないか。
<ul style="list-style-type: none"> ■高温しか出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●水側の止水栓は開かれているか。
<ul style="list-style-type: none"> ■低温しか出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●混合栓に湯がきているか。 ●湯側の止水栓は開かれているか。
<ul style="list-style-type: none"> ■温度調節がうまくできない 	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は開かれているか。 ●混合栓に湯がきているか。 ●吐水口キャップの目づまりはないか。

シングルレバー混合栓の本体内部は分解しないでください

本体内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないようにしてください。

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()